

地域生活支援拠点等の報告
(令和4年6月～8月)

1 各機能の実施状況

(1) 相談 資料1を参照

(2) 緊急時の受け入れ・対応

項目	件数	累計	備考
短期入所（契約）	0件	1件	
短期入所（措置）	1件	2件	

※累計は令和4年度内の件数です。

(3) 体験の機会・場の提供

項目	件数	累計	備考
G H体験入居	6件	17件	報告期間新規契約者：男性0名、女性1名 累計契約者：男性：5名、女性3名
賃貸住宅体験利用	0件	2件	

※ 累計は事業を開始した令和3年度からの総合計です。

2 主な相談内容と今後の課題

【土日の相談状況について】

・相談件数は横ばいの状態です。しかし、土日に開催しているフードバンクの受け取りなど、平日では行えない支援を実施することができています。

【グループホーム花桃の体験利用について】

現状

・毎月第2第4木曜日 13:30～見学会を実施しています。見学者の都合が合わない時は見学会以外の日時に調整させていただいています。

・見学会の参加者は一定数いますが、期間中に本利用へ繋がったのは1件でした。体験利用に至らなかった一例として、保護者は体験事業に意欲を示していましたが、ご本人が後ろ向きであり、利用に至らなかったケースがありました。

・一人では不安なのでご友人と一緒に体験事業を利用したいという相談もありました。

・事業開始時に比べ、身体障がい者からの問い合わせが減少し、知的障がい者に偏っています。当法人が知的障がい者の利用が多い法人であることが考えられます。

・グループホームへの地域移行が可能だと思われる入所施設利用者に対し、相

談員や施設職員が働きかけ、見学を実施しました。

・令和4年度福祉応援券の配布の際、グループホーム花桃体験事業のチラシも同封したところ、問い合わせの件数が多くありました。ただ、相談者の多くが介護保険対象者（65歳以上）であったため、実際に体験利用に至ったケースはありませんでした。

今後の動き

・見学から利用に至らない理由を検討中であり、計画相談員にも今後聞き取りを行いたいと考えています。

・1泊からの体験利用より、さらに敷居を低くし、特性に合わせてスロースタートができる支援方法を検討中。現在検討している案として、まずはグループホームで食事だけ試していただく、バーベキューなどのイベントを企画する等、ご本人やご家族に気軽に最初の一步を踏み出して頂ける支援方法がないか、グループホームの支援者と構想しています。

・施設入所から地域移行が広がっていけるように、入所施設や計画相談員と連携し、ニーズを確認していきます。

・通所先とグループホームとの送迎の課題について、各通所事業所に送迎の可否について聞き取るアンケートを作成しました。アンケートの集計結果を参考に体験利用の推進に努めていきます。